



## 「鳥の目、虫の目、魚の目」と「分析」

十日町市教育長 蔵品 泰治

ビジネスの世界では、「3つの目」を持って、多角的な視点で物事を捉えることが大切であると言われています。具体的には、「鳥の目」、「虫の目」、「魚の目」のことです。

「鳥の目」は、高い所から俯瞰し、全体を捉えることを意味します。

「虫の目」は、現場で起きている事象とその詳細を把握することを意味します。

「魚の目」は、時代の流れや変化をつかむことを意味します。

教育の世界においても、この「3つの目」はとても重要であると考えますが、さらに「3つの目」で見たことを、総合的に理解し、判断することが大切になります。ここで、「分析する力」が必要になります。

最近読んだ本を紹介します。タイトルは「新・観光立国論」で、著者はデービッド・アトキンソンです。直接教育とは関係ない本ですが、教職員の皆様が「3つの目」と「分析する力」を養ううえで大変参考になるのではないかと思います。記しました。

著者の経歴の概要は、1965年イギリス生まれ。27歳の時、世界的な投資銀行であるゴールドマン・サックスにヘッドハンティングされ入社、アナリスト（企業や社会動向を分析する専門家）に就任。33歳で取締役、41歳で共同出資者に就任。42歳で退社。44歳の時、請われて文化財の保存、修理に300年の歴史を持つ株式会社小西美術工藝社に入社。社長として経営再建にあたり現在に至ります。

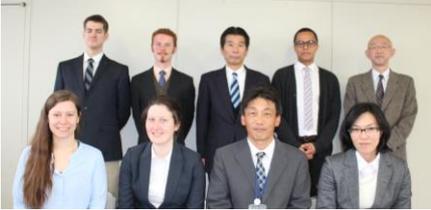
本の内容のごく一端を紹介すると、「国が成長するには人口の増加が必要であるが、日本は少子高齢化で難しい。移民政策については日本に馴染まない。そうであれば短期移民（訪日外国人）の増加を図ることはどうか。日本は潜在的な誘客力はあるが「治安の良さ」、「交通機関の発着の正確性」、「おもてなし」がアピールポイントであると勘違いしている。外国から時間とお金を使って日本に行ってみたいと思わせる核心部分は、「自然」、「気候」、「文化」、「食事」の4点である。アジア系の外国人は食事やショッピングに興味があるが、欧米系の外国人は文化に興味が高い。文化財の説明をしっかりと対応することで、滞在時間や日数が多くなり、食事や宿泊の需要が拡大する。」など、アナリストとしての類稀な分析力で明快に記述されています。

3月30日に政府は、2020年の訪日外国人数を、従来の目標を2000万人から4000万人へと倍増させましたが、デービッド・アトキンソンの考えも大きく影響したと言われています。

的確な分析は、課題解決のために行動すべきことを明確にします。教職員の皆様には、十日町市の教育課題、①学力の向上、②不登校の減少、③特別支援教育の充実のため、日々奮闘努力いただき深く感謝申し上げますが、「分析する力」を蓄え、さらにご精進いただきたくお願い申し上げます。

私も教職員の皆様と共に汗を流し、3年目を迎えた小中一貫教育をさらに発展させ、学校教育のめあてである「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもの育成」を進め、より一層市民の期待に応えていきたいと念願しています。

# ■教育委員会学校教育課・教育センター職員紹介

<p><b>教育委員会</b></p>  <p>子育て教育部長 渡辺健一</p>	<p><b>学校教育課</b></p>  <p>後列左から 山岸繁指導主事、金崎隆行課長補佐 宮澤均指導主事 前列左から 山岸一朗指導管理主事 川崎正男学校教育課長</p>
<p><b>学校教育課小中一貫教育係</b></p>	
	<p>後列左から 丸山チエミ臨時職員、池田里美主査、高橋忍主査管理栄養士 前列左から 樋口孝義嘱託指導主事、田村英明係長、丸山公一嘱託指導主事</p>
<p><b>教育センター学習指導班</b></p>	
	<p>左から 岩田雅己嘱託指導主事、徳永袈裟一嘱託指導主事、 須田文彦嘱託指導主事、井ノ川茂徳嘱託指導主事、 小林 豊嘱託指導主事、高橋 政子嘱託指導主事、 池田正義嘱託指導主事</p>
<p><b>教育センター教育相談班</b></p>	
 <p>前列左から 高橋喜美（相）、服部令子（特）、柳れい子（相）、宮澤均指導主事、 鈴木皓子臨床心理士、樋口弘之嘱託指導主事</p>   <p>左から小海貴代美（適）、宮澤ハルエ（相）</p>	<p>（特）は特別支援教育相談員、（適）は適応指導教室相談員、 （別）は別室登校等支援員、（相）は相談員 後列左から 野本光子（特）、上村裕子（適）、村山真理子（別） 関口智実（相）、春日貴子（別）、小海佳子（別） 白倉節子（特）、草村慶子（相）、村山千恵子（相） 上村尚子臨時職員</p> 
<p><b>教育センターALT等</b> （ALT：外国語指導助手 CIR：国際交流員 JFA：外国語指導助手）</p>	
	<p>後列左から パトリック（Jet-ALT） ブラッド（Jet=ALT） 高橋貢（市単ALT） アダム（Jet-CIR） 関口仁彦（市単JFA） 前列左から ケリー（Jet-ALT） サム（Jet-ALT）サム 山岸繁指導主事 小林理恵（市単JFA） Jetとは「語学指導等を行う外国青年招致事業」</p>
<p><b>パソコンヘルプデスク</b></p>	
  <p>左から 矢口達也、柳貴之</p>	 <p>よろしくおねがいたします。</p>

# ■平成 28 年度十日町市小中一貫教育実施計画（概要）

平成 28 年度十日町市小中一貫教育実施計画の概要をお知らせします。詳細は掲示板にあります「実施計画」及び「資料」、「今後の見通し」をご覧ください。

## 1 2つの重点目標

### <重点目標 1 不登校の減少>

- 不登校児童生徒の割合 平成28年度≦平成27年度
- 平成27年度に不登校だった児童・生徒にかかる不登校日数の学校内合計  
平成28年度≦平成27年度

### <重点目標 2 学力の向上><変更>

- NRTで全学年・全教科の児童生徒の平均偏差値  
小学校 53.0 以上、中学校 50.0 以上 (H27 実績 小学校 52.9 中学校 49.9)  
※第2次総合計画の目標値変更による

## 2 中学校区推進会議<変更>

教職員だけでなく、PTA会長や地域振興会長など、保護者や地域の代表等を必ず構成員とし、コミュニティスクール化の視点を持ち、地域と連携して小中一貫教育を進める。

## 3 コーディネーター・統括コーディネーター

コーディネーターを各学校で1人、統括コーディネーターを各中学校区で1人選定し、小中一貫教育の取組を推進する。

## 4 教育助手・教育補助員

各中学校区に教育助手を1人、1小1中を除く中学校区に統括コーディネーターを補佐する教育補助員（4時間）を1人配置する。

## 5 各種研修

- ・新任・転任教職員研修 4月5日（火）、12日（火）<変更3回⇒2回>
- ・コーディネーター・統括コーディネーター研修 4月20日（水）
- ・中学校区合同発表会兼教職員研修会 8月5日（金） ※悉皆  
発表と文部科学省講演会（仮題）「小中一貫教育制度の施行について」  
※中学校区推進会議メンバー（保護者や地域代表）の参加  
(発表順予定) H26：拡大、吉田、松之山 H27：南、水沢、下条 H28：川西、中里、松代
- ・市校長会、市教頭会での情報交換 年1回程度
- ・不登校対策のための教育センター研修

- ・1日異校種体験研修  
1年間で1校1人以上の職員の体験とし、対象は全教職員とする。  
研修内容に乗り入れ授業やTT授業を取り入れる。

## 6 リーフレット（保護者用）、ポスター・取組カード（子ども用）

リーフレットを就学児健康診断等で新入学児童の保護者へ配付し、各中学校区で小中一貫教育の取組を説明する。また、ポスター・取組カード（つながるカード）を活用し、児童生徒が主体的に小中一貫教育活動を行えるようにする。

## 7 広報活動

各中学校区の小中一貫教育だよりや学校ホームページなどで、取組を情報発信する。

## 8 取組評価

教職員、保護者及び児童生徒へ取組評価のアンケートを実施し、中学校区毎に集計分析して取組を評価し、次年度に生かす。(児童生徒も2学期)

## 9 3つの指導計画の活用と改善<変更>

3つの指導計画(教科、心、総合)に基づき取組を構築し、児童生徒の実態を分析し、特に中期(小5～中1)に重点を置き、9年間を見通した視点から改善する。

また、児童生徒が将来の夢や目標を持ち、主体的に学習するために、9年間のつながりあるキャリア教育の指導計画を作成する。

## 10 小中教員の積極的交流

日常的交流(授業参観、授業研究、教材研究、生徒指導等)、教科の補完、教育系ネットワーク(スクールオフィス)の活用、小中交換研修制度などで小中教員が積極的に交流する。

## 11 財政支援の継続

財政支援を継続し、各中学校区に7万円を支援する。

## 12 嘱託指導主事2人配置

担当中学校区における取組を把握し、連絡調整を図りながら推進を支援する。

## 13 中学校区訪問

担当嘱託指導主事が、小中一貫教育計画訪問、年2回の統括コーディネーター訪問、交流活動時などに訪問し、中学校区を指導・支援する。

## 14 小中一貫教育だより“つながる”

各中学校区の取組、先進地事例、学校教育課の様々な情報を発信する。

## 15 教育センター英語教育推進専門員1人配置 <新規>

小学校英語科の導入を見据え、グローバル人材の育成と英会話力向上のため、英語教育推進専門員を1人配置、外国語指導助手(ALT)を1人増員し、英語教育の充実を図る。

## 16 教育センター臨床心理士1人配置 <新規>

教育センターに臨床心理士を1人配置し、発達検査や相談、学校支援にあたる。

また、地域・家庭と共に自立を促し社会性を育てる「0～18歳までの社会性育成プログラム」を作成する。

## 17 小中一貫教育制度の導入<新規>

各中学校区で、小中一貫教育制度導入について、保護者や地域の関係者と協議し、子どもたちのより良い成長を目指した小中一貫教育の形態を模索する。

松之山中学校区については、小中一貫教育制度導入(H29～)をめざす。

## 18 本格実施3年間の検証(成果と課題)<新規>

市教委および各中学校区は、小中一貫教育本格実施3年間の検証し、成果と課題を踏まえ、次年度の計画を策定する。市教委はカリキュラム策定検討会を設置し、十日町市小中一貫教育9年間の標準カリキュラムをつくる。

# ■教育センター平成28年度の取組を紹介します。

## 教育センター学習指導班

区分	事業名称	期日	内容
学校訪問	小中一貫教育訪問	年2回	小中一貫教育
	市教委計画訪問	6～12月	学力向上
	学校運営サポート訪問	6～12月	学校運営、管理
	研修その他の要請訪問	随時	学校、中学校区等の要請
教職員研修	若手教員サポート事業	通年	若手教員の指導力向上
	授業力向上研修	年2回	講師を招き師範授業、講義
	英語科授業力養成講座	年2回	英語科教員の悉皆研修
	エキスパート教員研修	年2回	優れた教育実践の公開
	初任研体験研修	8月24日	福祉施設ボランティア体験
	情報教育研修	年4回	基本、保健、年度更新
	養護教諭研修	4月26日	保健管理
	事務職員研修	8月10日	事務処理実践力向上
	新採用・若手事務職員研修	6月9日、10月11日	実践力・技能・使命感養成
その他	英語教育推進事業	通年	イングリッシュキャンプ他
	寺子屋事業（拡充）	通年	地域人材活用の学び環境作り
	「楽しい読書」出前授業	通年（要申請）	読書推進のための出前授業
	「宿題どんとこい」活用事業	通年（運用）	家庭学習の習慣化と質的充実
	中学校「教科回覧板」活用事業	通年	データベース化による活用
	学力分析・情報提供	通年	全国学テ、web情報提供
	学力向上推進会議	6月15日	県立教育センター指導主事
	郡市教振部会研修支援	通年	指導者派遣、情報提供、支援

## 教育センター相談班

区分	事業名称	期日	内容
教育相談	来所相談	通年	相談員による相談・支援
	学校訪問相談	通年	学校と連携した相談・支援
	就学相談	通年	保護者対象の相談
	心の相談室	毎月第3金曜日	保護者を対象とした懇談会
適応指導	適応指導事業	通年	にこやかルーム等での交流
特別支援事業	特別支援教育研修講座	年間11回	教職員の指導力向上
	特別支援員研修会	4/6, 7/25, 12/26	資質・能力の研修
	特別支援教育保護者研修会	6/10, 10/7	理解と支援に向けた研修
	巡回相談・研修	5～8月、随時	気になる子どもの相談・支援
	来所相談・電話相談	通年	相談員による相談・支援
	発達検査	通年	児童生徒の特性把握
研修事業	特別支援教育研修講座（公開）	7/6, 8/24	講師；新潟大学長澤教授
	いじめ防止対策研修会	7/28	指導力向上、各校1名悉皆
	不登校対策研修会	6, 11, 3月	講師；新潟大学神村教授
	人権教育・同和教育研修会	11/17	講師；県人権・同和センター
その他	幼児教育・家庭教育事業	適宜	関係部署、保育園・認定こども園
	ケース会議	適宜	関係機関との情報共有対策協議

※ 詳細は、教育センターの研修計画をご覧ください。

## ■中学校区統括コーディネーター、校内コーディネーター紹介

平成28年度の中学校区統括コーディネーター及び各校のコーディネーターを紹介します。小中一貫教育の実質的な推進リーダーです。よろしくお願いします。

校内のコーディネーターを兼ねている統括コーディネーターもいます。

	統括コーディネーター	校内コーディネーター
拡 大	野村 淳 (中条中)	飯吉文弘 (十日町小) 佐藤里絵 (中条小) 田邊直子 (飛一小) 桑原洋文 (東小) 野村 淳 (中条中) 佐藤 壮 (十日町中)
南 中	佐藤孝幸 (南中)	山田直美 (川治小) 若井義弘 (西小) 佐藤孝幸 (南中)
吉 田	小林和之 (吉田中)	戸田孝之 (吉田小) 丸山 智 (鑑島小) 藤木雅彦 (吉田中)
下 条	小林淳司 (下条中)	水口正則 (下条小) 佐藤茂建 (下条中)
水 沢	羽鳥賢太郎 (水沢小)	羽鳥賢太郎 (水沢小) 市村信明 (馬場小) 阿部勝良 (水沢中)
川 西	加藤雪子 (川西中)	佐藤俊昇 (千手小) 中川智子 (上野小) 押木正美 (橘小) 加藤雪子 (川西中)
中 里	川尻 優 (田沢小)	内山正彦 (田沢小) 石澤由美子 (倉俣小) 本山 賢 (貝野小) 村山裕之 (中里中)
松 代	太島 誠 (松代中)	中村 裕 (松代小) 太島 誠 (松代中)
松之山	野島聡子 (松之山小)	野島聡子 (松之山小) 加藤 輝 (松之山中)
	9 中学校区	19小 10中

## ■新任転任教職員研修

新年度スタート早々、4月5日(火)12日(火)に情報館で「新任・転任教職員研修」を実施しました。スクールオフィス研修には64人、小中一貫教育研修には80人の参加がありました。



【スクールオフィス】



【小中一貫】

小中一貫教育の研修では、最初のプレゼンテーションで十日町市が小中一貫教育に至った経緯、取組内容、成果と考察、今後の方向づけを説明し、グループ協議、意見発表を行いました。

少人数の話し合いは、とても活発に行われました。積極的に、前向きに、小中一貫教育に取り組んでいきたいという感想が多く発表されていました。それと同時に、不安や疑問、要望を含め自らの考えもはっきり語られていました。

本格実施3年目の検証の年です。今までの確実な取組の継続とともに、新しい気風を取り入れ、小中一貫教育の一層の推進に歩みだす一歩となりました。

## ■中学校区の取組紹介（4月～5月）

中学校区名	平成28年度4月の取組	平成28年度5月の予定
<b>拡大中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中学校区リーフレットの配布</li> <li>■ 4月20日（水）小中情報交換会「徳育部会」 中1の授業参観と情報交換</li> <li>■ 4月26日（火）第1回小中一貫教育推進会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月10日（火）～12日（木） あいさつ運動</li> <li>□ 5月27日（金）市教委計画訪問 午前：市教委、午後：中越</li> </ul>
<b>南 中学校区</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月22日（金）南中学校区教職員協議会 教育推進会議 15:00～ 南中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月2日（月）南の森の春まつり 小小交流、小中交流</li> <li>□ 5月9日（月）一貫教育班長会議</li> </ul>
<b>吉田中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学区各校で「吉田の家庭学習5か条」による指導を行う。</li> <li>■ 4月26日（火）吉田地区教育振興会総会 1年間の活動の確認、学区教職員顔合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 各校で「インターネット使用点検表」を記入し活用する。</li> <li>※ 6月10日（金）に小中陸上交流会を実施。</li> </ul>
<b>下条中学校区</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月28日（木）わかば班話し合い活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月13日（金）小中交流活動はじめのつどい</li> </ul>
<b>水沢中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月21日（木）あいさつ運動基準制定委員会</li> <li>■ 4月22日（金）小中一貫教育“体部会”</li> <li>■ 4月22日（金）地区教職員協議会役員会 小中一貫教育年間取組計画の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月6日（金）進学指導委員会</li> <li>□ 5月16日（月）地区教職員協議会 総会 15:00～水沢中</li> <li>□ 5月14日（土）～20日（金） 第1回元気アップ週間</li> </ul>
<b>川西中学校区</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月13日（水） 川西地域教職員協議会兼小中一貫教育計画訪問 15:30～千手中央コミュニティセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月10日（火）心の部会懇談会</li> </ul>
<b>中里中学校区</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月14日（木）中里地区小中一貫教育推進部会</li> <li>■ 4月19日（火）中里地区特別支援教育推進部会</li> <li>■ 4月26日（火）中里地区PTA連合会代議員会 総会・面識会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月2日（月）中里地区教職員研修会・面識会</li> <li>□ 5月9日（月）中学年集合学習</li> <li>□ 5月21日（土）田沢小運動会</li> <li>□ 5月29日（日）倉俣小、貝野小運動会</li> </ul>
<b>松代中学校区</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月13日（水）松代地区校長教頭会 小・中学校校長、教頭、松代支所長、保育園長を交えての協議</li> <li>■ 4月21日（木）中学校吹奏楽部小中合同練習</li> <li>■ 4月27日（水）松代小中後援会代議員会</li> <li>※ 4月～11月（毎週月・金曜） マナーアップキャンペーン活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月9日（月）～13日（金） すこやかウィーク</li> <li>□ 5月12日（木）地区教育振興会総会</li> <li>□ 5月13日（金）～19日（木） 家庭学習強調週間</li> <li>□ 5月16日（月）～20日（金） 人権教育・同和教育強調週間</li> </ul>
<b>松之山中学校区</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月1日（金）小中合同研修会 「森の学校キョロロ」村山暁館長による松之山の「ひと」「こと」「もの」の講演 講演の後、小中合同昼食会で顔合わせ会</li> <li>■ 4月22日（金）小中合同研修会 「学力」「心」「体」3部会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 5月6日（金）市教委計画訪問 15:15～自然休養村センター</li> </ul> 

小学校運動会 5月21日（土） 十日町小、ふれあいの丘支援学校、東小、吉田小、下条小、西小、上野小、田沢小  
 5月22日（日） 中条小、川治小  
 5月28日（土） 鏡島小、水沢小、千手小、橘小、松之山小  
 5月29日（日） 馬場小、倉俣小、貝野小、松代小

（※飛一小は11月実施）